

令和8年度 長岡市 学校における食育 グランドデザイン

第4次長岡市食育推進計画【基本理念】

令和6年度～令和10年度

食で育む健やかな身体 豊かなところ 未来へつなぐ地域の活力

学校における食育の目標

ながおかの食を通して 健康で豊かな食生活を育もう

実態把握・評価

調査対象：小学5年、中学2年
調査時期：毎年12月
調査方法：食育アンケート

計画

取組

世代をつなぐ
食のリレー

目指す姿

<幼児期>

保育課

食をおいしくたのしめる子

<小学校>

学務課

ながおかの食を知っている子

<中学校>

学務課

ながおかの食や地域の願いを理解し、受け継いでいこうとする子

<高校・成人>

健康増進課

食への意識を高め、子どもや家族、
次の世代に伝える

学校における現状と目標値

※現状値：R7年食育アンケートより／（ ）内目標値

※第4次長岡市食育推進計画を参考に策定

《健全な食生活を実践できる食育の推進》の指標項目

- ・食事のあいさつをする割合：78%（80%）【R6年度79.5%】
- ・朝食をほぼ毎日食べる割合：85%（95%）【R6年度87.1%】
- ・主食・主菜・副菜の言葉も意味も知っている割合：57%（増加）【R6年度54.6%】
- ・主食・主菜・副菜のそろった食事を1日2回以上食べている割合：88%（80%）
【R6年度88.6%】
- ・米飯を主食とする食事の割合：94%（現状維持）【R6年度95.1%】
- ・よく噛んで食べる割合：70%（増加）【R6年度54.6%】

《ながおかの食をとりまく環境への理解を深める食育の推進》の指標項目

- ・食べることは「楽しい」と思っている児童生徒の割合：88%（90%以上）
【R6年度88.4%】
- ・作物や食品を選ぶときに、「長岡産」や「新潟県産」
を意識する児童生徒の割合：14%（増加）【R6年度11.7%】
- ◎地場産食材に関する指導を行った回数：平均月3.7回（月12回）
- ◎地域の郷土料理や伝統料理を提供している回数：平均月1.7回（月1回以上）

《健全な食生活を実践できる食育の推進》

に対する取組

- 長岡産コシヒカリ米飯給食の実施（週4回）
- 年間給食目標・献立計画による実施
- ながおか減塩うまみランチの実施
（市内統一・月1回）
- 地元企業との連携

各学校の取組

- 食に関する全体計画の見直し・実施
- 学校の実態に合わせた給食献立
（成長期に合わせた献立、食体験を広げる献立）
- 給食献立レシピの紹介 ○地域・家庭との連携
- 食物アレルギー対応検討委員会での対応

《ながおかの食をとりまく環境への理解を深める

食育の推進》に対する取組

- 給食週間の実施（市内共通テーマ）
- 郷土料理・地場産物PR（のっぺ・煮菜等）
- 市内共通食育だよりでの家庭への啓発
（年2回発行）
- 給食での地場産野菜使用拡大（契約流通）

連携機関

健康増進課

市民協働課

農水産政策課

環境業務課

学務課

学校教育課

子ども・子育て課

保育課